SMAC では、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況において、お客さまに安心してご参加いただけるよう対策を講じて参ります。ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件のある場では、感染を拡大させるリスクが高いと考えられ、こうした環境の発生を極力防止するよう、感染回避に徹底して取り組むことが重要と考えます。

●感染予防のため、以下についてセッション参加前にご確認ください。

- 咳エチケット、マスク着用、手洗い・手指の消毒を徹底する。
- 社会的距離の確保を徹底する。
- 過去１４日以内に感染拡大している地域や国への訪問歴がある方は参加できません。
- 体調が優れない、発熱や強いだるさ、息苦しさなどの症状がある方は参加できません。
- 活動開始前の非接触式体温計による検温を実施する。検温の結果 37.5℃以上の発熱があった場合は参加できません。
- スキー場施設、公共交通機関、宿泊施設を利用する場合は、各施設・機関のガイドラインに従う。
- 接触感染や飛沫感染を防止するため、消毒や換気の徹底、マスク着用と会話抑制など、複合的な予防措置をとる。

●三密リスクを下げる活動管理

- セッションでは、参加者が集まって「密」の状態を作らないよう、今まで通り無線機を利用したティーチング、ガイディングを行う。
- スキー場施設（レストハウス・ゴンドラ・ロープウエイ）では、入り口や施設内部での密集・密接を避けるため、小グループに分け、時間差をつけた入場等の工夫を行う。
- 交通機関や宿泊施設を利用する場合は、利用する各交通機関及び宿泊施設のガイドラインに従った利用ができるよう管理する。

●健康管理の徹底

- セッション前に、体温や症状の有無を確認する。
- 要所での手洗い・うがいができるよう、適切な休憩場所等を選択する。
- マスクの着用を要請する場合がある。
- 健康管理に留意し、万一体調不良となった場合の対応を予め準備する。

●感染が疑われる方が発生した場合の対応策

- セッション前に具合が悪い場合、及びセッション中に具合が悪くなった場合は、直ちにセッションを終了し、他の方への感染防止の対応を行うとともに、医療機関及び保健所へ連絡し、指示を受ける。
- 対応するスタッフは、マスクや手袋の着用を徹底する。
- 体調不良となり離団した方が、セッションの出発地または自宅等に戻るために必要に応じたサービスを手配できるよう準備する。

●宿泊施設での感染予防

- 複数の人の手が触れる場所を定期的に消毒する。
- 滞在者がいつでも使えるようにアルコール等を設置する。
- 手洗いや手指消毒の徹底を図る。

✧ 飛沫感染や接触感染、さらには近距離での会話への対策をこれまで以上に取り入れた生活様式を実践していく必要があります。

✧ 無症状や軽症であっても、他の人に感染を広げる例があります。自らを感染から守るだけでなく、周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。そのためには一人ひとりの心がけが何より重要です。

✧ 人と身体的距離をとることによる接触を減らすこと、マスクをすること、手洗いをすることが重要です。自身のみならず大事な家族や友人、隣人の命を守ることにつながるものと考えます。